

事業進捗状況報告

平成 25 年 12 月 10 日
東京都技能振興コーナー

1 「ものづくりマイスター」の開拓等について

(1)周知状況

団体関係

- ・東京都技能士会連合会傘下の各技能士会、技能検定協力団体、認定訓練校所管団体等に対して説明会実施。
- ・業界団体等の集まりにおいて説明会実施。

経済・産業団体

- ・大田区、板橋区等の産業団体などへ依頼。
- ・産業展等関連イベント会場にてものづくりマイスター制度について説明。

ニーズ調査

- ・ものづくりマイスターの発掘や実技指導のニーズなどの把握のため実施。
- ・都協会のデータベース企業。1051 社 94 社回答。ニーズ希望 11 社。マイスター発掘 7 件。
- ・今後、3000 企業にニーズ調査実施予定。

(2)認定状況（11 月、現在）

- ・東京都全体では、125 名認定。22 職種。
- ・主な職種：建築板金（15 名）、和裁（21 名）家具・建具製作（31 名）
建築大工（16 名）、造園（9 名）、貴金属装身具（6 名）など

(3)認定の特徴

東京都では、各技能士会を中心として開拓をしているため、技能士会のある職種の認定が多い。

(4)今後の課題

- ・技能士会のない団体や競技大会入賞者などへの開拓の強化。
- ・1 級技能士の資格は無いが、指導経験が長い人に対する認定の検討。
- ・ものづくりマイスターの役割についての周知の徹底。

2 「ものづくりマイスター」による実技指導の実施状況について

(1)周知状況

- ・上記（1）と同じ。
- ・東京教育庁、工業高校校長会、農芸関係校長会など。

(2)実施状況

学校等関係：9 件

- ・実施職種：家具、建築大工、パン製造、造園など。
- ・実施実績：377 人日

企業等関係：2 件

- ・実施予定職種：建築大工

- ・実施実績：60 人日（12 月実施予定）

(3)課題

- ・人材育成等に対する支援策については、自治体などで実施しているものもある。それぞれの役割を明確していくことが必要。
- ・個々の企業で人材育成内容のニーズが違うため、丁寧な説明をして開拓する必要がある。
- ・ものづくりマイスターと企業等へのマッチングのためのコーディネーター機能を強化する必要がある。

3 ものづくり体験教室等の実施状況について

(1)周知状況

- ・各教育委員会、小中学校に依頼等の実施。

(2)実施状況

- ・参加人員と実施回数：1,567 人、10 件。
- ・実施職種：和裁、貴金属装身具、建具、タイル、木工。
- ・実施場所：学校(3 件)、イベント会場等(6 件)、ものづくりフェア 13(1 件)。

(3)課題

- ・学校関係での実施については、事業の開始時期が遅かったため学校内の教育計画に乗れなく対応が難しいところがある。

4 その他

(1)匠の工場見学

- ・食料品の工場見学・体験：11 名参加 8 月 22 日実施。
- ・金属加工等の工場見学・体験：20 名参加 8 月 28 日実施。

(2)ものづくりフェア東京 13

- ・10 月 1 日（火）新宿駅西口広場イベントコーナー開催
- ・催し内容：匠の技展示・実演ゾーン、ものづくり体験ゾーン、技能五輪大会等ゾーン、技能検定ゾーン、ものづくり企業ゾーンの五つのゾーンを設置し実施。
- ・来場者：7000 名。

(3)教育関係者や産業界等が参加したシンポジウムの開催

- ・11 月 6 日（水）（江戸東京博物館ホール）
- ・「日本の宇宙開発を支えるものづくり技能」をテーマとして、講演と質問形式のトークショー実施。トークショーには、技能検定合格者、若年ものづくり競技大会参加者、技能五輪入賞者が参加。
- ・出席者：130 名

(4)ものづくりマイスター指導技法講習会

- ・1 回目 17 名、2 回 46 名実施 63 名参加。

(5)若年技能者人材育成支援等事業の相談・援助状況

- ・相談件数：157 件 利用者。